



● 社会福祉協議会 は ●

令和5年度
事業計画

「町民が寄り添い、支え合う町づくり」の 実現を目指し、事業を力強く確実に実践いたします！

● 基本方針 ●

コロナ禍に、改めて、制度の狭間の問題を含め、多様なニーズに柔軟かつ迅速に対応し、地域住民や関係者とともに、社会資源の開発やささあいの地域づくりを進める

- 1 コロナ禍において、感染状況等を鑑みながら、「できること」「求められること」を真に受け止め、これまでに培ってきた取り組みを活かし対応する
- 2 コロナ禍により喪失されつつある人と人とのふれあいや交流の機会を再構築し、いつまでもつながり続けられる絆をつくり、いち早く地域共生社会を実現させる
- 3 コロナ禍による減収により、経済的に困窮する方の生活を守る活動を展開する
- 4 自分が暮らす地域に関心を持ち、住民相互の交流を深め、いきいきと安心して暮らせる、切れ目のない支援の仕組みをつくる



音楽療法(障害者福祉センターのばら)



創作活動(障害者福祉センターたんぼぼ)

● 重点事項 ●

- 1 コロナ禍における効果的な地域福祉活動を実施する
- 2 コロナ禍で顕在化した新たな課題を各関係機関と密に連携し事業を進める
- 3 新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮し、停滞している地域福祉活動計画の事業を実践する
- 4 地域福祉推進の中核的機関であり、地域に開かれた組織として、情報発信や説明責任を果たし、事業の見える化・分かる化をはかる
- 5 高齢者が地域で自立した生活を続けられるよう、生活支援体制の整備をはかる
- 6 様々な大規模災害に対応できる備え、住民相互の支えあいの仕組みを整え、町と連携し、地域防災力の向上をはかり、安全な福祉避難所の運営、避難場所への移動支援等を展開する
- 7 共同募金事業が「困りごとを放っておかない、だれも孤立しない、つながりのある地域」を実現するための募金運動であることを周知し、地域共生社会を実現させるため、継続的に事業を展開する
- 8 コロナ禍で不安定となった介護保険事業・障害福祉サービス事業の効率的な運営を行い、経営状況の向上に努める
- 9 災害等の緊急事態が発生した際に、本会の事業継続を考える基になる「事業継続計画(BCP)」を策定する
- 10 非常に厳しい財政状況の中ではあるが、職員の「組織力と専門力」を高め、誰もが安心して利用できる施設運営、職員組織体制を強化する



地域福祉事業

- 広報及びホームページによる福祉意識の高揚
- 「人と人とのふれあいの場」・「協働の場」の構築
- 災害救援活動・避難移動支援活動事業の実施
- 食料等配布事業
- 要支援者探索活動事業
- 在宅福祉移送サービス事業
- 長寿会活動の促進と充実
- ボランティア連絡協議会活動の促進と充実
- 生活福祉資金貸付事業
- 車椅子貸出事業
- 福祉車両貸出事業
- 群馬県ふくし総合相談支援事業
- 評議員会及び理事会の開催
- 評議員選任・解任委員会の開催
- 職員研修会の開催
- 共同募金事業
 - 事務局の運営
 - 赤い羽根募金運動の実施
 - 歳末たすけあい募金運動の実施